

# めざすは全国大会のキツプ

## 迅速、正確、安全

### 町消防団

消防団員の技術向上や消防活動の充実を図ろうと、4月25日、町消防ポンプ操法審査会が、日野中学校グラウンドで開かれました。審査会の結果、ポンプ車の部で1位になった第1分団と小型ポンプの部に第1分団が、7月4日に開かれる県西部消防ポンプ操法大会（米子市）にまちの代表として出場することになりました。



すばやく火点に向けて放水



号令前に気を引き締める団員

消防団員の技術の向上、消防活動の充実を図ろうと行われている県消防ポンプ操法大会の予選（西部大会への出場予選）を兼ねて、町消防団（宮脇光男団長）が、4月25日、町消防ポンプ操法審査会を日野中学校グラウンドで開かれました。審査会は、消火活動の正確

さや早さなど消防技術の向上を目指すもので、ポンプ車の部に第1分団、第2分団、第3分団が出場しました。各分団の選手たちは、指揮者の号令とともに消防車に乗り込み、後方を確認し下車。ホースを連結して火点（目標物）に放水するなどの一連の動作を競い合いました。審査は、所要時間のほかに士気や迅速な行動、チームワーク、安全性などについても厳しく採点されました。審査会の結果、第1分団が1位になり、県西部消防ポンプ操法大会（7月4日、米子市）に出場が決まりました。小型ポンプの部は、第1分団の出場が決まっており、この日は、練習の成果を披露し

ました。操法大会は、西部大会で上位に入賞すると県大会の出場権が与えられます。全国操法大会は、ポンプ車の部と小型ポンプの部があり、今年の全国大会は小型ポンプの部が開かれます。県大会に出場し、優勝すると全国大会に出場できるとあって、宮脇団長は審査会後「特に小型ポンプは、全国大会に出場できるようがんばってほしい」と団員に話していました。町消防団員は、まちの財産、生命を守るうと、仕事をそれぞれが持ちながらも、いざという時のため、夜間訓練をするなど日々努力しています。



ホースを担いで全速力で延ばす



後方の安全を確認して下車